

平成22年度 【 学園研究費助成金 】 研究成果報告書

学部名 現代マネジメント学部

フリガナ サワダ ゼンジロウ
氏名 澤田 善次郎

研究期間 平成22年度

研究課題名 歯科医療の過去・現在・未来

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者			
研究分担者			
研究分担者			

1. 本研究開始の背景や目的等

コンビニエンスストアより多く、過剰状態となり経営が困難になっている歯科医院・医師とその経営について調査し対応策を考えた。このことは専門職(サービス業)である税理士・公認会計士・弁護士・社会保険労務士・中小企業診断士・技術士・他、士業といわれるサービス業(国家試験合格者)についても同様の過剰問題を抱えている。
ここでは、歯科医療問題を具体例にとって過剰問題解決についての提案と歯科診療所(医院)の経営のあり方を中心に考察した。

2. 研究方法等

- ① 歯科医師・医療費などの実態を調査しその問題点を抽出し改善策を考察した。
- ② 歯科医師国家試験・研修制度その後の専門医師養成体制についての調査・検討した。

3. 研究成果の概要

平成 20 年度は一般論として事例研究成果をまとめたもの(「今求められる非製造業の生産性向上」の論述)であった。平成 21 年度は医療面に絞った研究を進め日本生産管理学会第 30 回全国大会(愛媛大学開催)で『医療の生産性向上に関する一考察』という題名で単独発表した。成果として論文として学会誌「生産管理 Vol. 16No2」H. 22 年 3 月末発刊に投稿。

平成 22 年度は歯科医療面に絞って、しかも歯科医療の養成・研修体制全体についての問題点の摘出と改善案を以下のように学会誌に報告した。

以下論文誌の要約：

歯科医療の過去・現在をふまえて未来を考えることは、日本の多くの産業や資格制度が行き詰まり、将来を担う若者にしわ寄せをされている現状を打破することを考えることになる。

従って、歯科医療が直面している問題の解決策を経営管理・生産管理を学ぶ者が試案として提示することが出来ればよいと思い、このテーマを選んだ。

この発表では、まず①歯科医療の歴史を学びその後、②歯科医療の現状を多面的に解析・把握し、③歯科診療所(医院)の経営のあり方は、どうあるべきかについてまとめた。どの業界・企業・個人も利益をあげながら社会的使命を果たす必要がある。しかし、真実は、「社会的使命を的確に果たせば自ら利益が出る。」と考えたい。

4. キーワード (本研究のキーワードを1以上8以内で記載)

①歯科医療の歴史	②歯科医療の現状	③歯科診療所の経営	④供給過剰
⑤国民皆保険制度	⑥人口 10 万人あたり 歯科医師数	⑦8020 運動	⑧

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著者名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

学会発表

澤田善次郎、「歯科医療の過去・現在・未来」、日本生産管理学会、
第 32 回全国大会講演論文集、2010 年 9 月 12 日、pp303~308

論文

澤田善次郎、「歯科医療の過去・現在・未来」、生産管理、2010 年 10 月 30 日、
Vol 17 No.1 通巻第 34 号、pp125~130

歯科医院コンサルティング研究会を作り、研究活動を継続中である。

独立開業前・後のキャリアアップ体制の整備については、引き続き調査し検討をすすめる。